

酪農教育ファーム活動のこれまでの取組みについて

平成28年3月31日

酪農教育ファーム推進委員会

■酪農教育ファーム活動の推移

	教育者向プログラムの研究・開発、普及啓発等	酪農教育ファームに対するプログラムの研究・開発等	一般社会への普及・啓発、報道機関や、保護者組織に対するパブリシティ	海外・国内先進事例の研究等	教育関係者と生産者の相互交流	その他	特記事項
平成10年度	<p>小学校向け酪農教育教本（キット）制作と配布</p> <p>1.キット内容：副読本、ビデオ、学習展開例</p> <p>2.制作数：27千セット</p> <p>3.配布先：小学校、教育委員会等</p>		<p>『‘98教育総合展』出展</p> <p>1.会期：8/1～3日</p> <p>2.会場：東京ビックサイト</p> <p>3.出展内容：</p> <p>(1)牧場の体験学習現場と通信衛星で結び大型モニターで紹介</p> <p>(2)酪農教育ファームジオラマ展示</p> <p>(3)フランスの教育ファーム学習資料展示</p> <p>(4)酪農体験セミナー参加者募集</p> <p>(5)教育ファーム講演等</p> <p>4. 来場者数：198千人</p> <p>パブリシティ等</p> <p>日本農業新聞、日本教育新聞社、全酪新報、デイリーマン、酪農乳業速報、宮崎日々新聞、西日本新聞等</p> <p>『酪農家族』出版</p> <p>1.初版：15千部</p> <p>2.著者：立松和平</p> <p>HP開設</p>	<p>フランス・イギリスへの調査</p> <p>1.内容：フランス・イギリスの教育ファームの調査</p> <p>2. 時期：8/21～28</p> <p>『フランスの教育ファーム』の発行</p> <p>1.初版：3千部</p> <p>2.執筆者：大島順子等</p>	<p>モデル酪農体験セミナー</p> <p>1.目的：「総合的学習」での酪農体験の活用、教育関係者と生産者の意見交換等を目的に実施。</p> <p>2.開催地</p> <p>(1)北海道（新得レディースファーム）10/17～18</p> <p>(2)千葉県（嶺岡乳牛試験場）11/14～15</p> <p>(3)岡山県（中四国大学校）11/28～29</p> <p>(4)熊本県（熊本県立農業公園、大久保牧場）12/12～13</p>		『酪農教育ファーム推進委員会』設立
平成11年度	<p>専門委員会(6回開催)</p> <p>認証制度・酪農体験学習テキストの研究等</p> <p>小学校向けワークシート開発</p> <p>1.制作部数：300部</p> <p>2.配布先：セミナー、研究会出席者</p>		<p>食メッセ千葉’99併載エデュコミュニケーション21in千葉フォーラム&教材出展</p> <p>1.会期：11/17～23</p> <p>2.会場：幕張メッセ</p> <p>3.内容</p> <p>(1) ジョンニュートンジョーンズ氏記念講演</p> <p>(2)パネルディスカッション</p> <p>(3)教材展示</p>	<p>モデル的研究及び体験学習への支援</p> <p>以下の活動を支援し、メディア等に情報提供を実施。</p> <p>1.栃木県大笹牧場における品川区立宮前小学校の移動教室</p> <p>2.栃木県立大笹牧場における府中市立府中第一小学校の林間学校</p> <p>3.長野県八ヶ岳牧場における新宿区立鶴巻小学校の林間学校</p> <p>4.千葉県嶺岡乳牛試験場における北区44小学校の移動教室</p>	<p>研究セミナーの開催</p> <p>2002年からの総合的学習の試行を念頭に教育関係者、生産者を対象に実施。</p> <p>1.北海道(広瀬牧場)11/13 (参加者:47名)</p> <p>2.千葉県(幕張プリンス)11/21 (参加者:91名)</p> <p>3.大阪府(大江ビル)11/27 (近畿：40名)</p> <p>4.熊本県(ホテル白金)12/11 (参加者:60名)</p>		

	教育者向プログラムの研究・開発、普及啓発等	酪農教育ファームに対するプログラムの研究・開発等	一般社会への普及・啓発、報道機関や、保護者組織に対するパブリシティ	海外・国内先進事例の研究等	教育関係者と生産者の相互交流	その他	特記事項
平成11年度			<p>機関紙『感動通信』の創刊 1.年1回発行(11月) 2.部数：27千部</p> <p>パブリシティ等 日本教育新聞、日本農業新聞NHK・TV番組制作(1999年10月11日13:50～14:40放映)</p> <p>『酪農家族2』出版 初版：10千部 著者：立松和平</p> <p>HPの運営</p>	<p>英国教育ファーム組織ジョンニュートンジョーンズ氏招聘</p> <p>『酪農教育ファーム』の発行 1.初版：3千部 2.執筆者：</p>	<p>地域研究会の開催 酪農体験学習を進めるための指標づくりや実施に向けた教育関係者・生産者の意思統一の実施</p> <p>1.北海道(北見ロイヤルホテル)3/11 (参加者：22名)</p> <p>2.北海道(帯広ワシントンホテル)3/19 (参加者：32名)</p> <p>3.千葉県(品川プリンスホテル)4/8 (参加者：27名)</p> <p>4.広島県(ホテルグランヴィラ広島)3/5 (参加者：16名)</p> <p>5.熊本県(ウッドグランドホテル)3/19 (参加者：29名)</p>		
平成12年度	<p>地域研究会開催 先生を対象とした牧場体験や意見交換を実施。</p> <p>1.北海道(ノースプレインファーム)1/20～21 (参加人数：14名)</p> <p>2.岩手県(くずまき高原牧場)1/27～28 (参加人数：15名)</p> <p>3.栃木県(体験館trytrytry)2/10～11 (参加人数：15名)</p> <p>4.熊本県(オオヤブデイリーファーム)2/13～14 (参加人数：16名)</p>	<p>認証制度創設</p> <p>1.認証制度検討委員会(2回)</p> <p>2.認証研修会 (1)日程.3/20～21 (2)開催地：東京</p>	<p>酪農教育ファームPR用パンフレットの作成・配布</p> <p>1.制作部数：3千部 2.配布先：学習キットアンケート調査に回答があった小学校等</p> <p>機関紙『感動通信』 1.年1回発行(1月) 2.部数：3千部</p> <p>HPの運営</p>	<p>酪農体験実施事例集の制作・配布</p> <p>1.制作部数：3千部 2.配布先：学習キットアンケート調査に回答があった小学校等</p>			

	教育者向プログラムの研究・開発、普及啓発等	酪農教育ファームに対するプログラムの研究・開発等	一般社会への普及・啓発、報道機関や、保護者組織に対するパブリシティ	海外・国内先進事例の研究等	教育関係者と生産者の相互交流	その他	特記事項
平成13年度	専門委員会(1回開催) 先生のための酪農体験学習会 1.静岡県(デンマーク牧場)7/25～26 (参加者数：13名) 2.福島県(みちのくグリーン牧場)10/27～28 (参加者数：16名) 3.香川県(広野牧場)11/10～11 (参加者数：13名)	認証制度の運営 1.認証審査委員会(3回) (1)第1回(4/17) 12年度申請者レポート審査 (2)第2回(12月17日) 13年度書類審査 (3)第3回(1月31日) 13年度申請者レポート審査 2.認証研修会 (1)名古屋会場(2/23～24) (2)福岡会場(3/2～3/3) 3.認証研修会用テキストの拡充	機関紙『感動通信』の発行 1.年1回発行(〇月) 2.部数：8千部 HPの運営 パブリシティ等 酪農教育ファームPR用パンフレットの作成・配布 1.制作部数：30千部 2.配布先：指定団体・県域団体、都道府県・農政局、教育委員会、認証牧場、交牧連会員、教育関係者・機関等	酪農体験学習実践事例集の制作・配布 1.制作部数：5千部 2.配布先：指定団体・県域団体、都道府県・農政局、教育委員会、認証牧場、交牧連会員、教育関係者・機関等 酪農の有する教育的効果の実証研究 1.委託先：広島大学教育学部(角屋教授) 2.委託内容：酪農体験を導入した幼稚園・小学校(低学年・高学年)のカリキュラム開発 酪農教育ファーム受入報告書(牧場・学校)の集約 酪農教育ファーム受入実態調査の実施。			
平成14年度	先生のためのセミナー 兵庫県(姫路商工会議所会館)10/26 (参加者：26名) 先生のための酪農体験学習会 1.埼玉県(榎本牧場)7/30、8/2 (参加者：65名) 2.鹿児島県(きいれ牧場)7/28 (参加者：50名) 3.大分県(ミルクファームフルショウ)2/22 (参加者：不明) 4.熊本県(オオヤブデリーファーム)3/9 (参加者：不明)	酪農教育ファームの質的向上を目指した以下の活動 1.教育ファームのための研修会の開催 北海道(藤田牧場)10/19～20 2.モデル体験メニュー・料金の提示 3.受入実態調査の実施 4.事前打合せの際の確認事項・留意事項チェックシート、牧場来場者向遵守事項ポスターの作成・配布	酪農教育ファームPR用パンフレットの作成・配布 1.制作部数：30千部 2.配布先：指定団体、都道府県、教育委員会、教育ファーム、教育関係者等 機関紙『感動通信』の発行 1.年1回発行(〇月) 2.部数：8千部 3.配布先：指定団体、都道府県、教育委員会、教育ファーム、教育関係者等 HPの運営 パブリシティ等	酪農体験学習実践事例集の制作・配布 1.制作部数：5千部 2.配布先：指定団体、都道府県、教育委員会、教育ファーム、教育関係者等 地域交流牧場全国連絡会わくわくモーモースクールへの支援 1.関東(東京都新宿区立淀橋第四小学校)7/2 2.九州(福岡県福岡市立舞松原小学校)7/3	先生のためのセミナーの&認証研修会 1.北海道(北海道立道民活動センター)1/18～19 (参加者:42名) 2.東京都(国立オリンピック記念青少年総合センター)1/18～19 (参加者：20名)	保護者対象の酪農体験イベント 1.鹿児島県(きいれ牧場)7/27～28 (参加者：親子15名) 2.神奈川県(関口牧場)8/24～25 (参加者：1日目40名、2日目19名)	

	教育者向プログラムの研究・開発、普及啓発等	酪農教育ファームに対するプログラムの研究・開発等	一般社会への普及・啓発、報道機関や、保護者組織に対するパブリシティ	海外・国内先進事例の研究等	教育関係者と生産者の相互交流	その他	特記事項
平成14年度		認証制度の運営 1.認証審査委員会(2回) (1)第1回(12/17) 14年度書類審査 (3)第2回(2月12日) 14年度申請者レポート審査 2.認証研修会 右記のとおり 3.認証研修会用テキストの拡充					
平成15年度	専門委員会(2回開催) 酪農体験学習会の開催 1.静岡県(松下牧場)7/29 (参加者数：35名) 2.北海道(むらかみ牧場)8/5 (参加者数：6名) 3.鹿児島県(内牧場)1/31 (参加者数：36名)	酪農教育ファーム・地域交流牧場全国連絡会全国研修会の開催 1.日時：2/17 2.開催場所：栃木県 (参加者：68名) 認証制度の運営 1.認証審査委員会(1回) (1)第1回(12/19) 認証審査 2.認証研修会 (1)宮城会場(2/14～15) (2)東京会場(3/6～3/7) 3.認証研修会用テキストの拡充	酪農教育 PR 用パンフレットの作成・配布 1.制作物部数：30千部 3.配布先：指定団体、都道府県、教育委員会、教育ファーム、教育関係者、交牧連会員等 機関紙『感動通信』の発行 1.年1回発行(3月) 2.部数：8千部 3.配布先：指定団体、都道府県、教育委員会、教育ファーム、教育関係者、交牧連会員等 HPの運営 パブリシティ等	酪農体験学習実践事例集の制作・配布 1.制作部数：5千部 2.配布先：指定団体、都道府県、教育委員会、教育ファーム、教育関係者等		親子体験牧場イベント 1.神奈川県(関口牧場)4/29 (参加者数：52名) 2.東京都(小泉牧場)8/24 (参加者数：31名) 3.熊本県(オオヤブセイリーファーム)3/13 (参加者数：40名) 4.千葉県(須藤牧場)3/27 (40名) 消費者対象イベント 1.埼玉県(榎本牧場)10/25 (参加者数：29名) 2.兵庫県(弓削牧場)11/21 (参加者数：32名) 3.東京都磯沼ミルクファーム2/4 (参加者数：26名)	

	教育者向プログラムの研究・開発、普及啓発等	酪農教育ファームに対するプログラムの研究・開発等	一般社会への普及・啓発、報道機関や、保護者組織に対するパブリシティ	海外・国内先進事例の研究等	教育関係者と生産者の相互交流	その他	特記事項	
平成16年度	専門委員会(1回開催) 先生対象体験学習会・体験イベントの開催 1.静岡県(松下牧場)7/28 (参加者数:43名) 2.沖縄県(美花城牧場)8/3 (参加者数:34名) 3.宮城県(南蔵王不忘高原牧場・蔵王酪農センター)9/25 (参加者数:36名) 4.熊本県(阿蘇ミルク牧場)2/12 (参加者数:15名)	酪農教育ファーム・地域交流牧場全国連絡会全国研修会の開催 1.日時:9/9 2.開催場所:北海道 認証制度の運営 1.認証審査委員会(1回) (1)第1回(1/8) 認証審査 2.認証研修会 (1)東京会場(2/19~20) 3.認証研修会用テキストの拡充	機関紙『感動通信』の発行 1.年〇回発行(〇月) 2.部数:〇千部 3.配布先: HPの運営 パブリシティ等 も〜も〜絵画コンテストの開催 1.開催時期:7/20~12/20 2.応募点数:923点 3.応募資格:小学生 食育フェア出展 1.開催時期:1/15~16 2.開催場所:東京国際フォーラム 3.内容:パネル展示、学習展開事例紹介、バター作り体験、絵画コンクール展示	酪農の持つ教育的効果検証(消費者対象体験学習会・体験イベントの開催) 1.北海道(クリーマリー農夢)8/21(15名) 2.東京都(小泉牧場)9/18(56名)、10/2(60名) 酪農体験学習実践事例集の制作・配布			親子対象体験学習会・体験イベントの開催 1.神奈川県(関口牧場)4/29(45名)、7/24(44名)、10/23(38名)	
平成17年度	専門委員会(4回開催) 学校向け教材の制作 1.小学校5年生(社会科)ワークシート (1)制作部数:1千部 (2)認証牧場、教育関係者配布	認証制度の運営 1.認証審査委員会(1回) (1)第1回(2/16) 認証審査 2.認証研修会 (1)東京会場(2/16~17) (2)名古屋会場(2/23~2/24) 3.認証研修会用テキストの拡充 スキルアップ研修会 1.熊本:9/30~10/1 2.神奈川 10/7~8	酪農教育ファーム PR用パンフレットの作成・配布 1.制作部数:30千部 2.配布先 3.配布先:指定団体、都道府県、教育委員会、教育ファーム、教育関係者、交牧連会員等 機関紙『感動通信』の発行 1.年1回発行(3月) 2.部数:10千部 3.配布先:指定団体、都道府県、教育委員会、教育ファーム、教育関係者、交牧連会員等	酪農体験学習実践事例集の制作・配布 制作部数:5千部 フランス調査 1.時期:8/11~18 2.参加者数:6名			地域推進委員会(事務局指定団体)設立	

	教育者向プログラムの研究・開発、普及啓発等	酪農教育ファームに対するプログラムの研究・開発等	一般社会への普及・啓発、報道機関や、保護者組織に対するパブリシティ	海外・国内先進事例の研究等	教育関係者と生産者の相互交流	その他	特記事項
平成17年度		<p>認証牧場向けパーソナルツール制作 牧場の特徴や体験内容等が書き込めるようなツールを制作、HPに掲載</p>	<p>HPの運営</p> <p>も～も～絵画コンテストの開催 1.開催時期：7/20～12/31 2.応募点数：1,173点</p> <p>食育総合展ニッポン食育フェア出展 1.開催時期：1/14～15 2.開催場所：東京国際フォーラム とちぎファームフェスタ2005「国際フォーラム」開催 開催日時：11/5</p>				
平成18年度	<p>専門委員会(6回開催)</p> <p>生活科ワークシート教材開発 制作部数：1千部</p>	<p>認証制度の運営 1.認証審査委員会(3回) (1)第1回(8月) (2)第2回(9月) (3)第3回(1月)</p> <p>2.認証研修会 (1)東京会場(2/15～16) (2)福島会場(2/22～23)</p> <p>3.認証研修会用テキストの拡充</p> <p>スキルアップ研修会 1.東京：3/9～10</p> <p>紙芝居形式牧場支援ツール制作 1.制作部数：10千部</p> <p>O157感染予防マニュアルの作成・配布</p>	<p>酪農教育ファーム活動紹介パンフレットの作成・配布 1.制作部数：10千部</p> <p>機関紙『感動通信』の発行 1.年3回発行 2.部数：5千部</p> <p>HPの運営</p> <p>食育推進全国大会出展 1.会期： 2.会場：大阪</p> <p>牧場と食のいのちへの出展 1.会期 2.会場：東京</p> <p>も～も～絵画コンテスト開催 応募点数：899点</p>	酪農体験学習実践事例集の制作・配布 制作部数：5千部			

	教育者向プログラムの研究・開発、普及啓発等	酪農教育ファームに対するプログラムの研究・開発等	一般社会への普及・啓発、報道機関や、保護者組織に対するパブリシティ	海外・国内先進事例の研究等	教育関係者と生産者の相互交流	その他	特記事項
平成19年度	<p>専門委員会(7回開催)</p> <p>生活科学習キット(牧場に行ける学校編)制作・発送 1.制作部数：1千部 2.配布先：認証牧場、教育関係者</p> <p>メークファームキットの制作・配布 制作部数：100部</p>	<p>認証制度の運営 1.認証審査委員会(2回) (1)第1回(1月) (2)第2回(2月)</p> <p>2.認証研修会 (1)岩手会場(2/18～19) (2)東京会場(3/3～4)</p> <p>スキルアップ研修会 1.仙台：2/21～22 2.東京：3/6～7</p> <p>アドバンス研修会の開催 1.香川県(広野牧場)11/6～7 (参加者数：15名)</p> <p>支援ツールの制作(紙芝居) 1.制作部数：500部</p> <p>モデル牧場ツールの制作・配布 牛の部位パネル、子宮パネル</p> <p>認証牧場に対する現地指導・調査マニュアル、認証における現地審査マニュアル作成</p>	<p>酪農教育ファームPR用パンフレットの作成・配布 制作部数：30千部</p> <p>機関紙『感動通信』の発行 1.年4回発行 2.部数：5千部</p> <p>第2回食育推進全国大会出展 1.開催時期：6/9～10 2.開催場所：サンドーム福井</p> <p>消費者の部屋出展 1.開催時期：6/20 2.開催場所：農林水産省</p> <p>日本生活科・総合的学習学会への出展 1.開催時期：6/23 1.千葉県立旭市立飯岡中学校</p> <p>教育ソリューションフェア 1.開催時期：7/27 2.開催場所：秋葉原UDX</p> <p>HPの運営</p>	<p>酪農体験学習実践事例集の制作・配布 制作部数：5千部</p>			
平成20年度	<p>教育セミナーin 東京 1.2/7</p> <p>酪農教育ファーム体験研修会 1.静岡 2.7/29～30</p>	<p>認証制度の運営 1.認証審査委員会(2回) (1)第1回(1月) (2)第2回(2月)</p> <p>2.認証研修会 (1)名古屋会場(12/2～3) (2)新潟会場(3/2～3) (3)東京会場(3/5～6)</p>		<p>酪農体験学習実践事例集の制作・配布 制作部数：5千部</p>		<p>牛の等身大模型 (10体)</p>	<p>ファシリテーター制度創設</p>

	教育者向プログラムの研究・開発、普及啓発等	酪農教育ファームに対するプログラムの研究・開発等	一般社会への普及・啓発、報道機関や、保護者組織に対するパブリシティ	海外・国内先進事例の研究等	教育関係者と生産者の相互交流	その他	特記事項	
平成20年度	酪農体験学習会 1.北海道(加藤牧場)7/28 (14名) 2.北海道(荒川牧場)8/7 (9名) 3.北海道(村上牧場)8/20 (77名) 4.東北(山川牧場)8/7～8 (4名) 5.東北(くずまき高原牧場)8/30(16名) 6.関東(松下牧場)7/25(39名) 7.九州(オオヤブデリーファーム)8/23(13名) 11/15(23名) 1/10(15名) 制作物 1.高学年向け小冊子(150千部)	3.スキルアップ研修会 (1)名古屋会場：10/7～8 (2)札幌会場；10/30～31 アドバンス研修会の開催 1.静岡県 11/10～12 制作物 1.低学年向け小冊子(150千部) 2.マジックボックス(4個/牧場) 3.牛の胃のパネル(1個/牧場) 4.紙芝居(7種500セット) 5.タペストリー (4種270セット)						
平成21年度	教材横断的な学習素材の制作・配布 1.対象：小学校高学年 2.対象教科：10教科 教育関係者対象セミナー 1.博多(8/22) 2.札幌(12/5)	認証制度の運営 1.認証審査委員会(〇回) (1)第1回(〇月) (2.認証研修会 (1)東京会場(1/21～22) (2)大阪会場(2/2～3) (3)帯広会場(2/16～17) 3.スキルアップ研修会 (1)東京会場：9/19 (2)札幌会場；10/13 (3)博多会場：11/2	機関紙『感動通信』の発行 1.年4回発行 2.部数：5千部 食育全国大会出展(6/13～14) HPの運営	委託研究 1.酪農教育ファームにおける体験活動を通して子どもに育成される力に関する研究(委託先：広島大学教育学研究科) 2.牧場での酪農体験学習が児童・生徒の学びや育つ力にどのように貢献できるかを質問し、行動分析等の手法を活用して総合的に検討する。 3.酪農教育ファーム活動の経済的自立に関する調査研究(委託先：千葉大学大学院園芸学研究科)	出会いの場研修会・研究会・情報交換会 1.北海道(広瀬牧場)7/27(むらかみ牧場)8/18～19 2.東北(青森県むつ市)10/10～11、(ルピナスファーム)1/28 3.北陸(新潟市)7/27(フジタファーム)8/21 4.東海地域(愛知牧場、アイリス愛知)10/10 5.近畿地域(西山牧場)8/5 6.四国地域(大山牧場)2/27、(坂東牧場)2/28 7.九州地域(福岡市)7/25			

	教育者向プログラムの研究・開発、普及啓発等	酪農教育ファームに対するプログラムの研究・開発等	一般社会への普及・啓発、報道機関や、保護者組織に対するパブリシティ	海外・国内先進事例の研究等	教育関係者と生産者の相互交流	その他	特記事項
平成21年度		<p>モデル牧場指定（27牧場）・説明会の開催</p> <p>モデル牧場における先生のための酪農体験(8回)</p> <p>モデル牧場での酪農体験学習：55件 出前授業：6件</p> <p>安全衛生消耗品配布</p>					
平成22年度	<p>調べ学習教材の開発・提供</p> <p>1.HP上でのワークシートのダウンロード</p> <p>2、DVD（牛が生まれるとき）制作</p> <p>モデルカリキュラムの開発と提供</p>	<p>認証制度の運営</p> <p>1.認証審査委員会(1回) (1)第1回(1/6)</p> <p>2.認証研修会 (1)東京会場(1/26～27) (2)大阪会場(2/1～2) (3)札幌会場(2/15～16)</p> <p>3.スキルアップ研修会 (1)岡山会場：9/8 (2)仙台会場；9/24 (3)東京会場：10/22 (4)札幌会場：11/2 (5)愛知会場：11/19</p> <p>酪農教育ファーム活動の経済的自立に関する経営モデルの試算</p> <p>酪農体験マニュアルの作成</p> <p>口蹄疫対策マニュアルの作成</p>	<p>パブリシティ等</p> <p>日本教育新聞、全酪新報、日本農業新聞、デイリーマン、デイリージャパン、月間JA</p> <p>機関紙『感動通信』の発行 1.年4回発行 2.部数：5千部</p> <p>HPの運営</p>	<p>実践事例研究の実施</p> <p>1.酪農体験学習活動が子ども達の牛乳飲用行動に及ぼす効果についての研究 研究者：東京辻中経営研究所 辻中俊樹&東急エージェンシー</p> <p>2.「牧場体験を通じた価値構築課程に関する研究（親子のコミュニケーションから）」 研究者：法政大学経営学部 木村教授</p> <p>3.「牧場体験での体験学習活動が児童の意識や行動に及ぼす教育的効果の検証（言語力の育成）」 研究者：早稲田大学大学院教職研究科 田中教授</p> <p>4.「酪農教育ファーム活動の教育的効果に係る実践事例研究（いのち観の変容）」 研究者：広島大学大学院教育学研究科 鈴木准教授</p> <p>5.「酪農教育ファーム実践事例研究」 研究者：日本酪農教育ファーム研究会</p>	<p>出合いの場研修会・研究会・情報交換会</p> <p>1.北海道(札幌市)7/26、8/19 2.東北地域(庄司牧場)8/4、(五所川原市)2/20 3.北陸地域(フジタファーム等)8/19、(ヤスダヨーグルト等)11/6 4.東海地域(松阪市)11/26 5.近畿地域(大阪市)11/13 6.九州地域(きいれ牧場)3/5～6</p> <p>教育ファーム実践研究会の開催(8/6)</p>	<p>口蹄疫発生 酪農教育ファーム研究会発足</p>	

	教育者向プログラムの研究・開発、普及啓発等	酪農教育ファームに対するプログラムの研究・開発等	一般社会への普及・啓発、報道機関や、保護者組織に対するパブリシティ	海外・国内先進事例の研究等	教育関係者と生産者の相互交流	その他	特記事項
平成23年度	教育関係者対象研修会 1.札幌市 (1/14) 2 (参加者数：16名) 3 2.東京都 (1/28) (参加者数：30名) 教育関係者対象モデル出前授業の実施 (1) 江東区 (3/5) (2) 品川区 (3/8) (3) 多摩市 (3/12) (4) 小平市 (3/14) (5) 厚木市 (3/15)	認証制度の運営 1.認証審査委員会(1回) (1)第1回(1/5) 2.認証研修会 (1)東京会場(1/25～26) (2)大阪会場(2/7～8) (3)札幌会場(2/21～22) 3.スキルアップ研修会 (1)岡山会場：9/12 (2)札幌会場；9/30 (3)名古屋会場：10/21 (4)新潟会場：11/4 (5)東京会場：11/14 (6)福岡会場：11/30 (7)盛岡会場：12/7 体験者に対する感染症防疫の重要性を啓発するためのリーフレット制作 立入禁止区域を明示する看板を制作	パブリシティ等 全酪新報、デイリーマン、デイリージャパン、日本教育新聞 機関紙『感動通信』の発行 1.年4回発行 2.部数：5千部 HPの運営	全国実践研究会 (8/8) (参加者：60名)	酪農体験プログラムの作成及び検証 研究者：早稲田大学教職大学院田中教授 酪農体験活動における酪農家の指導法に関する研究 研究者：大妻女子大学 石井教授等 海外（フランス）視察研修の実施		
平成24年度	「酪農」を教材に授業づくりを提案する研修会 東京 (2/9)、(2/23) 教育関係者対象モデル出前授業の実施 1.東京都杉並第四小学校 (1/18) 2.東京都大田区立馬込小学校 (1/22) 3.東京都葛飾区立綾南小学校 (1/31) 4.東京都町田市立鶴間小学校 (2/4) 5.神奈川県立茅ヶ崎市立緑が浜小学校 (2/20)	認証制度の運営 1.認証審査委員会(1回) (1)第1回(1/12) 2.認証研修会 (1)札幌会場(1/22～23) (2)東京会場(1/31～2/1) (3)大阪会場(2/13～14) 3.スキルアップ研修会 (1)福岡会場：9/25 (2)大阪会場；10/5 (3)東京会場：11/6 (4)仙台会場：11/21 (5)札幌会場：12/4	パブリシティ等 全酪新報、デイリーマン、デイリージャパン、日本教育新聞、WUTAN、月間JA、フレマルシェ 食育全国大会出展 (6/16～17) パシフィコ横浜) ファーマーズ&キッズフェスタ出展(11/10～11日比谷公園) 機関紙『感動通信』の発行 1.年4回発行 2.部数：5千部 HPの運営	出会いの場研修会・研究会・情報交換会 1.北海道 (リビレッジ 竹田牧場) 8/16、8/17、(広瀬牧場) 8/25 2.関東地域 (富士宮市) 7/30、8/23 3.北陸地域 (フジタファーム等) 9/22、9/29 (ヤスタヨーグルト等) 10/20 4.東海地域 (八ヶ岳牧場) 7/28、(愛知牧場) 8/17、(NDファーム) 11/17、(大内山農協ふれあい牧場) 11/30、(恵那市文化センター) 8/22 5.九州地域 (大分県) 10/13、10/24	酪農教育における探求型モデル授業の開発 研究者：早稲田大学教職員研究科田中教授 酪農体験活動が子どもに与える教育的効果～酪農体験活動を行った子供の追跡調査を通じて～ 研究者：大妻女子大学 石井教授等 酪農教育ファーム認証牧場における後継者の経営意識と行動に関する調査研究		

	教育者向プログラムの研究・開発、普及啓発等	酪農教育ファームに対するプログラムの研究・開発等	一般社会への普及・啓発、報道機関や、保護者組織に対するパブリシティ	海外・国内先進事例の研究等	教育関係者と生産者の相互交流	その他	特記事項
平成25年度	<p>酪農体験学習会 デイリーランド(8/21) (参加者数：30名)</p> <p>教育実践セミナー 東京(2/23) (参加者数：28名)</p> <p>教育関係者対象モデル出前授業の実施 1.東京都杉並区立中和小学校(10/24) 2.東京都新宿区立落合第二小学校(12/13) 3.東京都中野区立新井小学校(2/18) 4.昭和女子大学付属小学校(2/21) 5.東京都板橋区立高島第二小学校(2/21) 6.文教大学付属小学校(2/4) 7.足立区立栗島小学校(3/4) 8.文教大学付属小学校(2/4) 9.足立区立西保木間小学校(2/20)</p> <p>幼児向け教材の開発 中学生向け教材の開発</p>	<p>認証制度の運営 1.認証審査委員会(1回) (1)第1回(12/25)</p> <p>2.認証研修会 (1)札幌会場(1/16～17) (2)東京会場(1/30～1/31) (3)大阪会場(2/20～21)</p> <p>3.スキルアップ研修会 (1)名古屋会場：8/28 (2)岡山会場：9/9 (3)大阪会場：9/12 (4)熊本会場：10/25 (5)岩手会場：11/19 (6)札幌会場：11/21 (7)東京会場：11/29</p>	<p>パブリシティ等 全酪新報、デイリーマン、 デイリージャパン、日本 教育新聞、</p>	<p>出会うの場研修会・研究会・ 情報交換会 1.北海道(レークランドファーム久保牧場)7/31、(リビレッジ竹田牧場)8/17 2.関東地域(富士宮市)7/30、8/23 3.北陸地域(フジタファーム等)9/22、9/29(ヤスタヨーグルト等)10/13(新潟大学農学部FC(11/17) 4.四国地域(三井牧場)12/25、(岡崎牧場)9/18、(三井牧場)10/30、 5.九州地域(大分県)10/13、10/24</p>	<p>酪農体験による子供の攻撃性の軽減や思いやりへの効果について 研修者：東京成徳大学田村教授</p> <p>酪農体験プログラムの効果検証に係る実践事例研究 研究者：早稲田大学田中教授</p>		
平成26年度	<p>酪農体験学習会 松下牧場(静岡県富士宮市、8/21) (参加者数：20名)</p> <p>教育関係者対象モデル出前授業の実施 1.東京都中野区立北原小学校(11/11) 2.東京都足立区立鹿浜西小学校(1/18) 3.茨城県阿見町立吉原小学校(1/29) 4.東京都中央区立常盤小学校(2/6) 5.東京都葛飾区立梅田小学校(2/14) 6.東京都足立区立平野小学校(2/17) 7.東京都台東区立黒門小学校(2/21) 8.東京都港区立本村小学校(2/25)</p>	<p>認証制度の運営 1.認証審査委員会(1回) (1)第1回(12/17)</p> <p>2.認証研修会 (1)札幌会場(1/15～16) (2)東京会場(1/29～30) (3)大阪会場(2/19～20)</p> <p>3.スキルアップ研修会 (1)名古屋会場：8/28 東海 (2)東京会場①：9/19 (3)仙台会場：10/17 (4)東京会場②：10/24 (5)高松会場：11/4 (6)博多会場：11/7 (7)新潟会場：11/21 (8)札幌会場：11/28</p>	<p>パブリシティ等 全酪新報、デイリーマン、 デイリージャパン、日本 教育新聞、</p>	<p>出会うの場研修会・研究会・ 情報交換会 1.北海道(田村牧場)7/25、(とわの森三愛高校)8/20 2.関東地域(富士宮市)7/31、8/21 3.北陸地域(新潟大学農学部FC等)6/21、11/17(フジタファーム)9/21 4.東海地域(久保田牧場)8/27 5.四国地域(高知県立幡多農業高校)9/1、(岡崎牧場)10/24、 6.九州地域(本部農場)10/18、(大分県)10/24</p>	<p>実践研究会議の開催 8/8(50名)</p>	<p>酪農教育ファーム専門 委員会の設置 第1回委員会(2/28)</p>	<p>「交流活動を行うに際しての防疫上の対応について」を指定団体全国連実務責任者会議において整理。</p>